

校長室
だよ

おみっ子

通信

令和5年9月29日

麻績小学校

No. 7



思い合いの心でみんなが笑顔！

実りの秋を迎えた9月。2学期が本格的にスタートし、様々な活動や学びが見られました。麻績小学校ならではの行事や学習活動も多く、麻績小のよさや「らしさ」がいっぱいです。

いろんな「仲間」と学べる おみっ子 ～保小中連携・北部三校交流・友だちグループ…～

年齢や経験、体の大きさ、体力など様々な点で自分とは異なる人と関わり、多様性を包み込む集団で学べることは、麻績小学校の強みであると考えています。最近の活動を紹介します。



跳び箱やハードル、ボールなど使った楽しい遊び



「いっしょに遊ぼうね」



「けやきの日」には、保育園の子どもたちが小学校へ来て一緒に遊びます。小学生は、園児が喜んでくれるように遊びを工夫したり、優しく手を引いてあげたりしています。相手意識をもって試行錯誤することを通して、相手を思いやる気持ちが育まれています。



3校混合のチームで対戦



活動の振り返りを共有

筑北小学校と生坂小学校の子どもたちとの交流会も行われています。それぞれ小規模の学校ですが、だからこそ他校との交流という貴重な機会が得られるとも言えます。

6年生は麻績小学校の体育館でレクリエーションを、2年生は、生坂村のプールへ行って、

生活科で作ったペットボトル船を浮かべて乗りました。お互いの学校が作った船にも乗ってみました。交流会の終わりには、感想発表などがあり、「初めて会った人とも楽しく活動ができた」という声が聞かれました。これからも北部三校の交流を深めていきます。



「後についていくよ」



「絞り方はこうだよ」

9月に始まった「縦割り清掃」では、学年の混ざったグループで上級生が掃除のやり方などを教えてあげながら清掃に取り組んでいます。

1年生が6年生をお手本にして、後に続いて雑巾がけをする姿が見られました。

いろんな「先生」に教えてもらえる おみっ子 ～地域の方・担任交代・中学生職場体験・大学生・・・～

学級担任だけがその子を見るのではなく、多くの目で子どもたちを育てていくことは、子どもたち一人一人を、より深く理解し、大切にしていけることにつながります。子どもたちの前には、さまざまな人が立ち、「先生」になってくれます。



はぜかけの仕方を見て学ぶ



絵本の世界にひたる

5年生は地域のJAの方に教えていただきながら米作りに取り組んでいます。また、どのクラスにも、ボランティアや保護者の方が本の読み語りに来てくださっています。

教科学習では得られない、体験を通した学びを与えていただいています。



1年生の道徳の授業（小松先生）



2年生の学級活動（太田先生）



4年生の朝の会（井口先生）

「担任交代日」には、学級担任の先生全員が交代します。写真は3枚ですが、3年生には宮田先生、5年生には伊藤先生、6年生には加藤先生が行きました。いつもとは違う先生が前に立ち、子どもたちは少し緊張気味？と思ったら、すぐに打ち解けて、笑顔がたくさん見られました。麻績小学校では、全員の子どもたちを、全員の職員で育てていくことを大切にしていきます。



大学生と自主学习（通学合宿）



中学生に教えてもらう（職場体験）



運転手から見えない死角を確認

9月は、他にもいろいろな「先生」から学ぶ機会がありました。

希望者で参加した通学合宿では、できるだけ自分たちでできることをやりながら、大学生のお兄さんお姉さんが準備してくれた楽しい企画がたくさんあり、充実した3日間を過ごしました。

職場体験学習で小学校に来た中学生は、子どもたちにとっての「先生」として、学習の手助けをしてくれたり、歴史のクイズを出してくれたりしました。

交通安全教室では、交通安全教育支援センターの方が来校し、実際の車を使った実験や実演で、歩行者にとってどんな危険があるのかを教えてくださいました。

今回紹介したような取り組みや学習を通して、これからも「多様性を包み込み、学び合う麻績小学校」や「多くの目で子どもを育てていく麻績小学校」を目指していきたいと思います。